

### 土地利用規制緩和による人口減少抑制策

**問** 人口減少を抑制するために、若い世代が求めやすい安価な住宅を供給できるよう、市街化調整区域の土地利用規制を緩和するなどの施策が必要だと思いが、見解を伺いたい。

**答** 住宅の供給戸数を増やすため、規制されていた市街化調整区域での住宅団地開発を、一定の条件のもとで地区計画制度を用いて可能としたり、開発における一戸当たりの最低敷地面積の緩和等に取り組んできたが、市街化調整区域での宅地開発について、既存制度をより即効性、実効性があるものとなるよう、既に見直しに着手している。また、土地利用の高度化による住宅供給戸数の増加策として容積率を緩和しており、徐々に効果が見えているところである。

今後、さらなる住宅供給戸数の増加に向けて取り組んでいきたい。



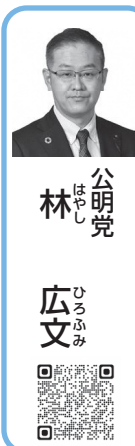
### 市道葉山線の葉山橋拡幅工事の進捗状況

**問** 地元からは早期完成を求める声があるが、工事の進捗状況を伺いたい。

**答** 車道幅員が4メートルと狭小な葉山橋については、通行車両及び歩行者の危険性が高いことから地元からの拡幅要望も受け、平成20年度に事業に取りかかり、用地取得や関係機関との協議を経て、令和4年4月から橋の拡幅工事に着手している。工事内容は、橋を架け替え、車道6メートルと両側歩道を設けるもので、1期目の工事として、計画全体幅員12メートルのうち5メートルの架設を令和5年4月に完了し、現在は橋に取り付けている水道管やガス管の移設工事を行っている。引き続き、既設の橋の撤去や残りの橋の架設工事を実施するための工事発注手続きを進め、令和6年秋の完成を目指し、事業の進捗に努めていく。



▲葉山橋

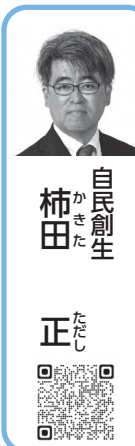


### 学校トイレの洋式化

**問** 本市の公立小中学校のトイレの洋式化率は全国平均を大きく下回っているが、国も目標を定め洋式化を進めていく中、今後の取組はいかがか。

**答** 本市では新築・改築校をはじめ、既存校についても、平成28年度から令和元年度までのトイレ洋式化改修工事において、当時の子ども数から算出した必要便器数に対し、小学校は80%、中学校は50%とする目標を設定の上で洋式化を進めた結果、一定目標は達成しているものと考えている。

しかし、洋式化改修の計画時から一定期間経過しており、社会全体のトイレの洋式化の状況も変化していることから、学校や子どもたちの意見、県内の学校の状況、文部科学省の動きを踏まえ、この基準を見直す時期にきているものと考えている。



### 学校給食費の今後の在り方

**問** 本市の学校給食費は全国的にも負担が低くなっているが、質の高い学校給食という観点から今後の給食費についてどのように考えているのか。

**答** 学校給食費は平成20年度を最後に改定しておらず、消費税増税や食材価格の上昇などもあり、献立作成に苦慮している。特に、昨年度の急激な物価高騰により、現在の給食費では栄養価等を満たす給食を作ることは困難と判断し、昨年度及び今年度については、国の交付金を活用することで保護者負担額を据え置いている。

今年度も食品に係る物価は上昇を続けていることから、質の高い給食の提供のためには、1食当たりの単価上昇は避けられないと考えているが、この単価上昇が新たな保護者負担につながるよう検討していききたい。



▲学校給食の様子

